

会員サイト公開用 役員活動報告書

名 前	長谷川 大悟
担当業務	広報業務全般（会報誌発行事業、ホームページ運営管理事業、理学療法広報啓発事業、障害者助成事業、理学療法関連情報配信事業、広報企画運営事業、管理・入会促進等）、代議員ネットワーク支援部会、全国リハビリテーション医療関連団体協議会、報酬改定（介護・障害福祉）対策強化推進部会、訪問リハビリテーション振興委員会、リハビリテーション専門職団体協議会報酬委員会、前記に附帯又は関連する調査・調整等

内 容			
日 付	他団体	会議名	場所
10月1日		代議員ネットワーク支援部会（部会長レク）	オンライン
10月3日		第1回代議員ネットワーク支援部会	オンライン
10月4日		第5回理事会	日本理学療法士協会会館
10月6日		障害福祉サービス等報酬改定に係る意見交換会（障害者・座長レク）	オンライン
10月6日	○	リハビリテーション専門職団体協議会第1回障害福祉報酬対策委員会	オンライン
10月7日		障害福祉サービス等報酬改定に係る意見交換会（障害児・座長レク）	オンライン
10月7日		第2回障害福祉サービス等報酬改定に係る意見交換会（障害者）	オンライン
10月8日		介護報酬改定の要望項目に関する打ち合わせ	オンライン
10月8日		会報誌（JPTA NEWS）ミーティング	オンライン
10月8日		第1回全国職能・政策担当者会議	オンライン
10月9日		介護報酬改定の要望項目に関する打ち合わせ	オンライン
10月10日	○	日本理学療法士連盟研修会・役員意見交換会	オンライン
10月10日		60周年記念式典	東京プリンスホテル
10月10日		祝賀会	東京プリンスホテル
10月11日		組織運営協議会	日本理学療法士協会会館
10月14日		第2回障害福祉サービス等報酬改定に係る意見交換会（障害児）	オンライン
10月15日	○	第3回訪問リハビリテーション振興委員会	オンライン
10月16日		第2回全国職能・政策担当者会議	オンライン
10月24日		介護報酬改定の要望項目に関する打ち合わせ（座長レク）	オンライン
10月24日		ファンマーケティングに係る業者打ち合わせ	オンライン
10月27日		広報企画課会議	日本理学療法士協会会館
10月27日		全国リハビリテーション医療関連団体協議会	東京交通会館
10月28日		第2回介護報酬改定に係る意見交換会	オンライン
10月29日		第3回介護報酬改定に係る意見交換会	オンライン

11月4日	常任理事会	オンライン
11月7日	会報誌（JPTA_NEWS）ミーティング	オンライン
11月8日	2025年度都道府県士会広報担当者会議	日本理学療法士協会会館
11月8日	○ 日本訪問看護財団訪問看護サミット 2025	オンライン
11月17日	○ 全国リハビリテーション医療関連団体協議会	オンライン
11月19日	○ 第4回訪問リハビリテーション振興委員会機能担当者会議	オンライン
11月24日	日本理学療法士協会中間監査	日本理学療法士協会会館
11月24日	業務執行理事会	日本理学療法士協会会館
11月26日	○ リハビリテーション専門職団体協議会第2回障害福祉報酬対策委員会	オンライン
11月27日	障害福祉サービス等報酬改定に向けた個別要望に関する打ち合わせ（障害者）	オンライン
11月28日	広報企画課会議	日本理学療法士協会会館
12月4日	障害福祉サービス等報酬改定に向けた個別要望に関する打ち合わせ（障害児）	オンライン
12月5日	会報誌（JPTA_NEWS）ミーティング	オンライン
12月5日	賛助会員懇談会	TKP赤坂カンファレンス
12月6日	第3回理事懇談会	日本理学療法士協会会館
12月6日	第6回臨時理事会	日本理学療法士協会会館
12月8日	第2回代議員ネットワーク支援部会	オンライン
12月12日	介護報酬改定に向けた本会要望に係る打ち合わせ	オンライン
12月16日	広報企画課会議	オンライン
12月17日	○ 第4回訪問リハビリテーション振興委員会	オンライン
12月18日	○ 社会保障を守る会緊急集会	オンライン
12月22日	○ 第9回全国リハビリテーション医療関連団体協議会	オンライン
12月23日	第6回業務執行理事会	オンライン
所感	広報企画担当理事として、所管する広報企画課職員らと共に、鋭意業務遂行にあたっている。事業進捗について、年間計画の通り、滞りなく進んでいる。本四半期で明らかとなった課題を踏まえ、広報を単なる情報発信にとどめず、社会的価値を共創する基盤として深化させる局面にあると認識している。専門職団体としての信頼性と発信力を高め、会員と国民をつなぐ広報の在り方を更新し続け、次なる発展へと繋げてまいりたい。また、広報関連業務以外の業務分担として、訪問リハビリテーション振興委員会、報酬改定(介護・障害福祉)対策強化推進部会、リハビリテーション専門職団体協議会、全国リハビリテーション医療関連団体協議会の委員を担当させていただき、本会として会員の意見を制度政策に反映できるよう最善を尽くしてまいる。 事業報告および進捗状況は以下の通り。	
	会報誌発行事業 「リガクラボ」サイト運営、記事毎週水曜日に発行。CMSバージョンアップ検討、KPI効果測定を実施している。 毎月の定例会議を通じて、JPTA NEWS10月号・12月号発行、2月号以降の企画	

作成を広報課職員と共に行った。本会と日研の共同企画など新たな発信に今後も取り組んでいき、協同する会員に届く広報展開を目指す。また、会報誌の電子化に向けた取り組みについて、11/4 常任理事会にて意見を求め、12/23 業務執行理事会での議論を踏まえ全会員に向けたメール調査を 1 年かけて実施し、今後の可能性を模索していく。

理学療法関連情報配信事業

FAX 配信、X、Facebook、Instagram、YouTube の運営、投稿。アプリ通知配信。会員向け・代議員向けメールマガジン発行を実施している。

定期メール配信、FAX 配信等既存の情報伝達ツールに加え、SNS では、X の有料プランを運用し広報を展開した。10月からはInstagram を開始し、定期的に配信している。直近 1 カ月の閲覧数は 4.5 万回である。SNS 配信は頻度を増やし、媒体ごとにユーザーが異なるので、それに見合った配信に努めている。

広報企画運営事業

今期のキーワード「ファンマーケティング」として、11/8 には研修を兼ねた「全国広報担当者会議」を開催した。その後アンケート調査を実施し、その結果を次年度に活かしてまいる。

2026 年 1 月からオープンチャットを開設し、都道府県士会広報担当者同士の意見交換の場を平時から設けていく。

障がい者団体助成事業

11 月 10 日より受付を開始し、23 団体から申請があった。今後、選定部会を開催し、5 団体を選出する。

HP 運営管理事業

アクセス解析により、PDCA サイクルを徹底し、媒体の特性に合わせた適材適所の掲載で、知りたい情報を探しやすくする。課題として、HP 上の古くなった情報や不要と思われる情報の削除修正は未着手であり今後取り組む必要がある。視認性・操作性の向上に取り組んでいく。

広報誌発行事業

スマートフォン向けのニュース配信アプリを活用した新たな広報発信の方法について、現在企業と検討中である。既存の媒体とはまた別に新たなチャンネルを介して、ユーザーの興味関心に最適化されたニュースという形で配信の実現を目指す。

理学療法広報啓発事業

Enjoy Your Life、WEB ページ公開、広報施策実施、広報物発送対応、有償発送対応、士会一括発送手配。次年度の写真コンテストでは、本会初となる特別審査員賞を設け、理学療法の更なる普及啓発を目指す。

Enjoy Your Life（ウィメンズ、シニア、子ども、大人）シリーズの年度内発刊について、広報媒体作成部会にて、今年度中の新冊子発刊に向け、滞りなく遂行中である。その他、プレスリリース、新聞広告など特に不具合は生じていない。

管理・入会促進

次期早期入会特典準備、入会案内改訂・発送、2026 年度入会者向け LINE の運用、養成校向け入会促進施策案内の配信に努めている。

入会促進に伴う国家試験受験生向けの LINE 運用では、養成校の教員に依頼し、学生登録者に対して応援メッセージ等を含め定期的に配信している。また、入会に関するチラシを刷新し、養成校宛てに配信する。

早期入会キャンペーンとして、クラブオフと連動する形で金券類の特典を組み合

わせ、入会施策を打つ予定である。入会促進、退会抑止策について課題意識を持ち、実現可能なものを確実に実行していく。

理事会

協会ホームページのアクセス解析の結果を報告した。情報を発信したことに留まらずアクセス解析により、課題を数値で示し、改善の方向性を明確にするとともに、SNS 媒体を活用した認知拡大、上位ページからの導線設計など協会の活動成果を広く国民・会員に届けるべく広報手段を検討していく。

常任理事会

理学療法士が登場する漫画作品を活用した広報展開について報告した。作品を通じて、理学療法への興味関心を高める契機と捉え、出版社と協議検討中である。その先には、理学療法士が主人公となるドラマ化や映画化のきっかけとなるようこれまでとは異なるチャンネルを活用した理学療法の社会的理解を促進する取り組みとして、模索していく。

業務執行理事会

四半期の業務報告において、所掌する広報企画関連事業（会報誌発行事業・理学療法関連情報配信事業・広報企画運営事業・障害者団体助成事業・ホームページ運営管理事業・広報誌発行事業・理学療法広報啓発事業・入会促進に係る事業）に関して年間計画に則り、滞りなく業務を遂行していることを報告した。会員や国民に向けて有益な情報を迅速かつ正確な配信に広報担当常務理事として、職務執行に努める。

組織運営協議会

理事懇談会を経て、組織運営協議会においても理学療法週間を理学療法月間に名称を変更する旨、議題を提出し、更なる普及啓発に努めるべく提起した。歴史のある催事に対して都道府県士会も関わることから丁寧かつ慎重に議論を展開していく、時代に沿った形での運用を目指す。

全国職能・政策担当者会議

障害児・障害者それぞれの部会において部員の意見等を踏まえた個別要望事項等を報告した。都道府県の担当者と情報共有を図り、会員の声を大切にしたい。

障害福祉サービス等報酬改定に係る意見交換会

今期、当該報酬改定における担当理事として職務に努める。障害者・障害児についてそれぞれ会議体を区分けし、検討会の前には座長とのレクおよび部員からの事例を通じて現場の意見が制度政策へと反映できるよう最善を尽くしてまいる。

介護報酬改定に係る意見交換会

部員の一人として、多角的な視点から意見を出し、現場に沿った要望となるようまた、会員の声が保険収載へと繋がるよう努力する。

訪問リハビリテーション振興委員会

訪問リハビリステーション運営ガイドラインとして、人材育成ガイドラインのみならず、リスクマネジメントや情報管理、感染予防などを網羅的に記載したガイドラインの骨子を作成し、財団との意見交換を進める方向である。

全国リハビリテーション医療関連団体協議会

担当理事とともに参画している。関連団体及び厚労省担当者との議論も踏まえ、本会要望を共有の上、議論がなされている。

	<p><u>リハビリテーション専門職団体協議会 障害福祉報酬対策委員会</u></p> <p>障害福祉報酬改定委員として意見交換を行う。各団体の要望の取りまとめに加え、本委員会としての重点要望を検討していく。</p>
	<p><u>代議員ネットワーク支援部会</u></p> <p>部会長事前レクを含め、年内 2 回の部会を開催し、代議員が主体となって出来ることは何か、代議員の認識整理などを議論した。代議員として必要な知識を共通化することのはずについても課題として挙げられ、今後議論を深めていく。</p>
	<p><u>社会保障を守る会 緊急集会</u></p> <p>本会役員として、平時からのロビー活動は非常に重要である。公定報酬も物価高賃金上昇を踏まえて機動的に調整することが求められ、賃金が他産業平均と遜色ない水準となるよう動向を注視していく。</p>
	<p><u>日本訪問看護財団訪問看護サミット 2025</u></p> <p>訪問系サービスの動向については、他団体含め積極的に情報収集に努め、引き続き、本会の制度政策に活かしてまいる。</p>
	<p>その他、前期に関連する各種会合において、事前調査および調整等を行った。</p>
報告日	2026年1月27日

※「他団体」に○がついている項目は、本会役員として他団体に関与しているものです。